

平成 29 年度たんぽぽ運営基本方針

1. 全体基本方針

- A. 稼働率維持・向上
- B. サービス向上
- C. 人材確保・教育・活用
- D. 加算の維持と新規算定
- E. 新規事業
- F. 総合事業対応
 - デイサービス 3 事業所で移行型と閉じこもり予防型を実施する。
 - ヘルパー事業所で移行型と、訪問型サービス A を実施する。
- G. 地域社会に貢献する取組
 - 平成 30 年 3 月までに開始する。

2. 事業別方針

(1) 介護老人福祉施設（特養）・短期入所生活介護（ショートステイ）

- ① 稼働率の維持
- ② 各種加算の維持・新規算定
- ③ 自立支援の推進（特養）
 - 最終的にはベッド上排便者ゼロを目指し、年度内の目標は 5 名以下とする。
- ④ 看取り介護の推進（特養）
- ⑤ ショートステイのサービス向上
- ⑥ 人材確保・教育・活用
 - OJT を継続実施する。
 - 実習生を積極的に受け入れる。
 - 各種研修に参加する。（認知症基礎研修、介護力向上講習会等）
 - 接遇を強化する。
- ⑦ 働きやすい環境の整備
 - 老朽化したナースコールをリニューアルする。
 - 記録システムを導入する。

(2) 通所介護（デイサービス）

- ① 利用者数維持・増
- ② 各種加算の維持・新規取得
- ③ 総合事業対策（機能訓練の充実）
 - 3 事業所とも移行型（介護予防相当）と「閉じこもり予防」を実施する。
 - 機能訓練の充実を図る。
- ④ 安全運転指導
- ⑤ 新人職員教育の充実
- ⑥ 新規事業対応

⑦ 3つのDSそれぞれの特長を生かしたサービスの提供

5丁目：ゆっくり癒す

- 機能訓練及びレクリエーションの充実・多様化
- 個別ニーズへの対応

北：楽しくくつろぐ

- 創作活動の充実
- 認知症への個別対応の充実
- 機能訓練の充実
- より効率的な人員配置のため、人員配置ボード導入を検討する。

となり：機能回復で若返る

- 個別機能訓練の強化
- 在宅アセスメントと在宅リハビリメニューの充実

(3) 訪問介護（ホームヘルパー）

- ① 職員数増
- ② 利用者数増
- ③ サービス提供責任者体制の整備
- ④ 報告書の充実
- ⑤ 担当ヘルパーと提供責任者との情報共有

(4) 居宅介護支援（ケアマネージャー）5丁目・北

- ① 利用者数増
- ② 特定事業所集中減算の回避
- ③ 特定事業所加算維持
 - 以下の特定事業所加算要件をできるだけ長く維持する。
5丁目：I（主任CM2人以上、CM3人以上、中重度40%以上）
北：III（主任CM1人以上、CM2人以上）
 - 28年秋からの新要件「新人ケアマネ実習の受け入れ」を受け、教育マニュアルを整備する。
- ④ 新規事業への貢献
- ⑤ 総合事業への対応
 - 地域ケア会議への参加
 - 包括との連携強化

(5) 地域包括支援センター

【介護予防事業】

- ① 対象者把握
 - 一人暮らし高齢者等支援が必要な高齢者の訪問
 - 各事業からの掘り起こし
 - 地域からの情報収集

- ② 普及啓発（出前講座等）
介護予防講座、権利擁護講座、福祉や介護保険制度説明講座等を年 10 回開催する。
- ③ 生き生き元気をつどい（65 歳以上の方を対象とした一次予防事業）
織姫公民館で毎月開催する。

【包括的支援事業】

- ④ 高齢者相談
 - 初期段階での相談対応
 - 継続的・専門的な相談支援
 - 医療・介護・保健・福祉の専門機関、民生委員や介護支援専門員等との連携
 - 地域の高齢者の実態把握
- ⑤ 権利擁護業務
 - 成年後見制度の活用促進
 - 老人福祉施設等への措置の支援
 - 高齢者虐待への対応
 - 困難事例への対応
 - 消費者被害の防止に関する諸制度の活用
 - 認知症サポーター養成講座の開催（小学校 1 回、中学校 1 回）
- ⑥ 介護支援専門員支援
 - 介護支援専門員に対する日常的個別指導・相談
 - 地域の介護支援専門員が抱える支援困難事例等への指導・助言
- ⑦ 高齢者支援連携協議会
民生委員 10 回、多職種 1 回開催
- ⑧ 地域ケア会議
9 回開催予定
- ⑨ 認知症総合支援事業
認知症カフェ、オレンジ会、認知症初期集中支援
- ⑩ 在宅医療・介護連携推進事業

【会議等】

- ⑪ 管理者・実務者リーダー会議 3 回
- ⑫ 実務者連絡会議 6 回
- ⑬ 専門職会議並び研修
保健師会議 12 回、社会福祉士会議 7 回、主任ケアマネ会議各 6 回、その他必要時随時開催

【その他】

- ⑭ 指定介護予防支援
 - 介護予防（要支援）サービス計画の作成
 - 介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整
- ⑮ たんぽぽ介護サービス事業所への貢献